北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光研究ゼミナールIII	科目コード	1235	単位数	2
担当者名	山田　勅之	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe603	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本ゼミナールでは学会誌（北海道地域観光学会）への投稿を目指します。まず、研究計画書を作成して、先行研究を収集と整理を行います。その結果を踏まえて、データを収集・分析して、論文を執筆します。また、研究報告会を実施して、ゼミ生間で活発な議論をすることによって、論文の完成度を高めます。

このように作成した論文を学会誌に投稿することによって、観光学の発展にも貢献できます。

到達目標

・問題意識の持ち方、課題発見力、先行研究に対する批判的検討、資料収集、分析検討といった論文作成に向けた一連の流れを身につけます。
・自分の考えを根拠をもって論理的に説明できる力を身につけて、観光の現場で実践できる能力を獲得できます。

授業内容

1週目 ガイダンス：論文の位置づけ
2週目 研究計画書の作成
3週目 先行研究の収集と批判的検討①
4週目 先行研究の収集と批判的検討②
5週目 先行研究の収集と批判的検討③
6週目 データの収集と分析①
7週目 データの収集と分析②
8週目 データの収集と分析③
9週目 論文作成①
10週目 論文作成②
11週目 論文作成③
12週目 研究報告会　パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。
13週目 論文のチェックと修正作業①
14週目 論文のチェックと修正作業②
15週目 論文のチェックと修正作業③
16週目 講評と振り返り。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・予習
理論書や先行研究を精読すること。研究報告会ではパワーポイントにて内容をまとめてください（90分程度）。
・復習
問題意識を持って、研究の振り返りをします（30分程度）。

成績評価の方法・基準

研究計画書、研究報告会におけるプレゼンテーション、議論への参加度、論文などを評価の対象とします。

履修上の留意点

・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。出欠は授業の参加度の観点から管理します。改善されない場合は不合格となることがあります。
・ノートパソコンなどを持参して使います。
・発表については全員で評価します。

課題に対するフィードバックの方法

・研究報告会については、口頭にてコメント・評価します。
・論文の修正指示を適宜行います。

テキスト

特になし。

参考書

大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編『観光学ガイドブック』（ナカニシヤ出版）3080円
遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著『現代観光学―ツーリズムから「いま」がみえる』（新曜社）2310円
竹内正人編『入門観光学』（ミネルヴァ書房）3080円

更新日付

2026/01/26 02:14